



[検索](#) / [新着情報](#) / [このサイトのご利用について](#) / [サイトマップ](#)

[TOP](#) > [漁港・港湾](#) > [石巻港湾事務所](#) > 乗船体験記

平成18年9月1日更新 / [石巻港湾事務所](#)

ひばりの通信第9号 号外

(乗船体験記)

7月27日に、水域施設整備の参考のために大型船に同乗させていただきました。

当日の天候は、まれにみる好天で、船に弱い私たちにとって絶好の乗船日和！乗船時間は約2時間。水先人に密着し、体験したことを以下に紹介します。

水先人(パイロット)とは

飛行機の離着陸が難しく熟練が必要なのと同じように、船舶でも離着岸がもっとも難しく熟練が必要です。加えて、各港には安全上注意しなければならないことが様々あります。

これらの技術・知識を兼ね備え、船長に代わり又は補佐して船を安全に運航し誘導する、水先人という職業があります。



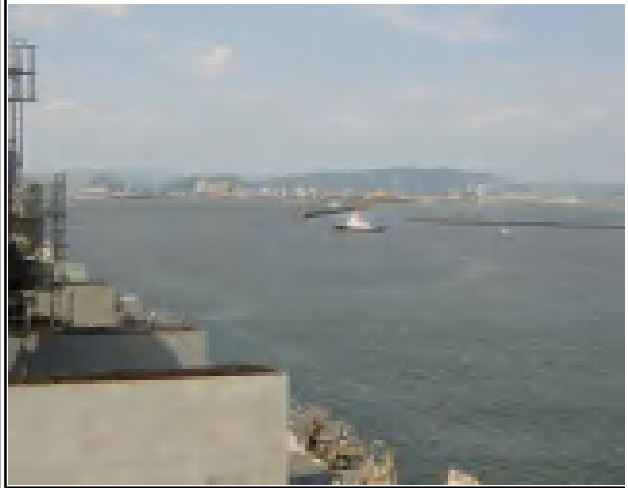
13:50 大手埠頭よりタグボートで出発

乗船する船舶は、ユウヨウ号(51,599DWT)。積み荷は、紙の原料のチップ。近くで見ると、とても大きい(長さ209m)。接岸するための岸壁が空くのを、沖合いで24時間待っていたという。長いときには、3日ほど待つ場合もあるそうだ。そんなときは、釣りなどをして待つそうだ(本当?)。



いよいよ乗船

通常は縄梯子で乗船。今回は、船舶の配慮により、タラップにより乗船できた(梯子では命がけ)。水先人は、腕力も必要なんだなあ。



南浜棧橋に向かって外港航路を前進

海面からの高さは20mくらいで、景色がよい(我々はどこを目指す岸壁かわからない)。

海上には、当然道路のようなものは無い。水先人は灯浮標を目印に、テキパキと速度、操舵の微妙な指示を送っていた(当然英語。すごい!)

今回は、特に静穏であった。このクラスの船舶では、速度5ノットで船尾が30cm沈み、船がたったの2°傾くと

65cm船が沈むそうだ。浅瀬の石巻港では、細心の注意が必要だ。(注:1ノット 1.852Km/h)

14:20 雲雀野灯台手前で2隻のタグボートのお出迎え

水先人は大忙し。15mほどの船橋を右へ、左へ(船首が邪魔で前が見えないそうだ)。タグボートにも、無線で指示を送る。



南浜棧橋300m手前

エンジンをストップ。3ノット以下では、舵が効かない。タグボートに押しってもらう。息もぴったり。まるで、鯨とコバンザメのよう。

接岸直前

水先人は、デッキに出てタグボートへ最終指示を送る。今回の接岸位置の誤差は、0.2m以内でなければならない。タグボートからは、岸壁が見えない。水先人の指示のみで行動する。水先人との信頼関係がなせる技!



16:00 接岸

今回の接岸速度は、秒速4cm。さすがプロフェッショナル。お見事！！岸壁にもやさしい水先人でした。感謝。

お疲れ様でした。

[ページのトップへ戻る](#)

宮城県石巻港湾事務所総務班

電話:0225-95-6271/FAX:0225-95-6273 / E-mail: iskowng@pref.miyagi.jp ■

Copyright(C)2004.Miyagi Prefectural Government. All Rights Reserved